

小6

社会

単元テスト

こたえ

なまえ _____

歴史1 むらから国へ・飛鳥と奈良

_____ がつ _____ にち

制限時間 30分 100点満点

教科書やノートを見ないで、時間をはかって解きましょう。

1 言葉を書こう

知識・技能

(24点)

- (1) 縄文時代の人々が、食べ物のかすなどをすてた場所が積み重なってできたあとを (6点)
 といいます。
- (2) 3世紀、30ほどのくにを従え、中国に使いを送った邪馬台国の女王は (6点)
 です。
- (3) 朝鮮半島や中国から日本に移り住み、漢字や仏教、土木の技術などを伝えた人々を (6点)
 といいます。
- (4) 奈良時代、唐の進んだ制度や文化を学ぶために送られた使いを と (6点)
いいます。

2 えらぼう・直そう

知識・技能

(30点)

- (1) 次のできごとを、古いじゅんにならべましょう。 (5点)
ア 平城京に都を移す イ 小野妹子らを隋に送る ウ 東大寺の大仏が完成する
エ 中大兄皇子らが蘇我氏をたおす
 → → →
607→645→710→752。全部合って5点
- (2) 古墳のまわりにならべられた、人や馬、家などの形をした焼き物は (4点)
()・土ぐう) です。土ぐうは縄文時代
- (3) 東大寺の大仏が完成した752年は (7・)・9) 世紀です。 (4点)
- (4) 「聖徳太子は、冠位十二階を定めて、役人の心がまえを示した。」下線が正しければ○、ちがえば直しましょう。 (6点)
- (5) 中大兄皇子とともに蘇我氏をたおし、天皇中心の国づくりを始めた人物は (6点)
 です。藤原鎌足でも○
- (6) 米づくりが広まった弥生時代について、正しいものをえらびましょう。 (5点)
ア たくわえた米や田・水をめぐって、むらどうしの争いが起こった
イ 鉄の道具が広まり、争いが全くなかった
ウ 土器が初めて作られ、むらどうしの争いが起こった 土器は縄文時代から作られていた



小6

社会

単元テスト

こたえ

なまえ

歴史1 むらから国へ・飛鳥と奈良 2まいめ

3 資料を読もう

調は地方の特産物を都におさめる税

知識・技能

(20点)

平城京のあとから見つかった荷札(木簡)に書かれた、送り元と品物の例

送り元(今の県)	品物
静岡県	かつお
福井県	塩
千葉県	あわび

- (1) これらの品物は、農民がおさめた税の一つで、都に運ばれました。税の名前は (4点)
(租 ・ **調** ・ 庸) です。
- (2) 品物は、だれが都まで運びましたか。 **ア** (5点)
ア 税をおさめる農民が、自分で運んだ
イ 都の役人が、船で集めに行った
ウ 商人が買い取って、都で売った
- (3) 表から分かることをえらびましょう。 **イ** (5点)
ア 都の近くの地方からだけ、品物が集められた
イ 海に面した地方から、その土地でとれる海の産物が集められた
ウ 外国から、めずらしい品物が集められた
- (4) 農民には、税のほかに、都や九州の守りにつく **兵士** の役目もあり、くらし (6点)
は苦しいものでした。 **兵役・防人でも○**

4 考えて書こう

思考・判断・表現

(26点)

- (1) 聖徳太子は、603年に冠位十二階を定めました。それまでの役人の地位の決め方に (13点)
ふれて、ねらいを書きましょう。
- (例)それまでは豪族の家がらで役人の地位が決まっていたので、家がらにとられず能力のある人を役人に取り立てるため。
- 「家がらで決まっていた」と「能力のある人を取り立てる」の両方で13点。片方なら6点
- (2) 聖武天皇のころは、病気の流行や反乱が続き、社会に不安が広がっていました。聖 (13点)
武天皇が大仏を作らせたのはなぜですか。

(例)社会の不安をしずめるため、仏教の力で国を守り、人々の心を安らかにしようとしたから。

「仏教の力で国を守る(人々を安心させる)」が書けて13点。「不安をしずめる」だけなら6点

